

新潟県民主医療機関連合会ニュース

発行者
宮野 大

振動病の定期検査実施

かえつクリニック

12月5日と12日、かえつクリニックで振動病の定期検査が実施されました。

○振動病とは

長期間、振動を起こす工具を扱っていると、その振動によって、手指、前腕（肘から

手首まで）にしびれや冷え、

痛みなどが出てくることがあり

ます。これが振動障害で、

労働災害の一つです。症状と

しては、手指の末端の血液循

環が悪くなつて起きる「末梢

循環障害」、手指のしびれや

痛みが起こり、熱さ・冷たさ、

痛み等の感覚が鈍くなる「末

梢神経障害」、手指、ひじ

の痛みが起こる「骨・関節の

障害」の3障害があります。

○振動病定期検査とは

午前、午後でそれぞれ10人



痛覚の検査

程の患者さんが検査を受けま
す。職員側は医師含め8人＋
2で実施する必要があります、事
業所の職員だけでは足りず、
他事業所や県連等に支援を求
め実施しています。

毎年、夏季と冬季に2日間ず
つ検査を実施しています。

（検査内容）・皮膚温、振動
覚、痛覚、爪圧迫、握力。ま
た冷却負荷検査も該当者に実
施します。

ふれあいスクールに参加 かえつキッズプロジェクト

12月11日（水）、荻川小

しました。

学校体育館で実施された「ふ
れあいスクール」に、かえつ
キッズプロジェクトメンバー
が4人で参加し、前回に引き
続き『全身反応時間』と『骨
密度検査』を実施しました。
その他にも、スクール開始時
のウォームアップ
体操をウォームの
トレーナーが、野
球が好きなプロジェ
クトメンバーが野
球ブースで子ども
たちと一緒に過ご
しました。

子どもたちは70人弱が参
加し、そのうち36人がキッ
ズプロジェクトが実施する検
査に参加してくれました。

今後とも様々な企画に参加し、
子どもたちの健康づくりに貢
献していきます。

37,000筆を超過

直接請求署名運動

柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う県民投票条例制定を求める直接請求署名運動ですが、新潟県で約37,000筆が集まっています。

直接請求には、有権者の50分の1以上の署名が必要と

定められていて、県内では約

3万6千人の署名が求められ

ますので、そのラインは超え

ることができました。ただ目

標の20万筆にはまだまだ届

かないのが現状です。

県連事務局では、舟診療所・

下越病院 G	61
舟江診療所	7
入舟 G	
おぎの里	
ときわ診	
坂井輪診療所	
かえつ歯科	33
勤医協本部	9
ながおか・虹のまち	251
新潟県「イカル」ラン	57
坂井輪会	53
ゆうえい会	60
かえつ福祉会	29
カエツ	12
事業協	39
県連事務局	83

民医連
694筆

かえつ歯科・下越病院の待合
で署名を実施し、それぞれ2
2、12筆、10筆を集める
ことができました。



ウォームアップ体操の様子